



大明小学校 校長室から

令和元年6月20日

No. 14

文責 校長 飯久保一男

子どもを甘やかすこと (今号は少し辛口です)



子どもが、あれが欲しい、これが欲しいと言ったときに、すべてを買い与えてしまう親は子どもを甘やかし過ぎです。子どもは座っていて、あれ取って、これ持ってきてという要求に全部親が言いなりになることは甘やかしです。食事をつくったときに「こんなの食べたくない」と子どもが言ったら作り直す親はいないでしょう。そもそも、食べたくないと言うことが大間違いですし、「こんなの」とは何という言い草だと叱っていいでしょう。「子どもに我慢をさせる」「つらいことでもやり遂げさせる」ことは必要なことです。日本では昔から「かわいい子には旅をさせよ」ということわざがあり、親のもとで甘やかしておかないで、社会の辛酸をなめることも必要だとされてきました。



私が以前勤めていた学校での話です。

その1 林間学校のウォークラリーにソフトクリームを食べるポイントをつくりました。事前にソフトクリームを食べられるかを何度も聞き、アレルギーがあり食べられないという子にはジュースを代用しました。私が担任していたSはソフトクリームを食べることになっていました。私は最後のグループと一緒に行動し、そのポイントについたところ、ソフトクリーム売場の担当をした保健の先生から、Sが「ソフトクリームの気分じゃないんだよね」と言って、ジュースがいいと言い出し、急遽、変更に対応したと聞きました。怒りがわきましたが、Sはすでに通過してしまっていたので、終了後にSを呼んで話を聞きました。私には「お腹が痛かった」と言い訳をしました。「気分じゃない」と言ったのではないのかと聞きましたが、そんなことは言っていないと言い、保健の先生がウソを言っているのかと尋ねると、そうだという始末でした…。林間学校が終わって解散したあとSの母親から抗議の電話が来ました。「お腹が痛いという子がジュースに代えたことがそんなにいけないことなのですか。」

その2 担任をもっていない教員が、ある高学年のクラスの給食の片づけがあまりにお粗末だったので、叱っている場面に出会いました。私は当然のことだと思いました。その先生の叱り方は、論すような叱り方で、怒りをぶつけるようなおかしいものではありませんでしたし、その先生が叱っていなかったら、私が怒りをぶつけているところでした。すると、その夜、そのクラスの担任に、叱られた子の母親から苦情が入りました。「そんなに怒られることですか。」…ちなみに、担任ではない他の教員に叱られたことも気に入らないようでした。

子どもが叱られた教員のことが気に入らないので、親に言いつけ、親がその子の言うことを鵜呑みにし、学校に文句を言ってくる…、この家庭で育つ子の将来が心配になります。

子どもが教員に叱られたと話したときには、まず詳しく話を聞いてください。教員はそんな理不尽なこととは言っていないはずです。「それはあなた(たち)が悪いでしょ。先生が怒るのは当たり前じゃないの。」となることが普通ではないかと思っています。また、叱ってくれることをありがたいと思ってくれてもいいとも思っています。



先日、校長の研修会にて、

「教員が子どもたちの悩みや困りごとに対応したら感謝された時代から、対応するのが当たり前で感謝などされない時代になった。」

という話がありました。しかし、私は、そうは思いたくありません。

本校の教職員には、

子どもたちのために学校がある 教育活動の全ては子どもたちのために

と伝え、教職員全員で子どもたちの健全な成長のために取り組んできています。4月以降、子どもたちのトラブルなどにも本校の教職員はていねいに対応し、保護者の皆さんの理解も得ています。また、私や教頭への報告・連絡・相談を欠くことのないようにも伝えていますので、様々な対応の前後で必ず教職員からの相談・報告があります。その内容からすると、保護者から感謝の言葉があったことや、納得してもらえたという形で終わっているものばかりです。大明小学校は、保護者と教職員で子どもを育てるという環境になっていると感じています。

以前にも書かせてもらいましたが、ほめて育てることは大切ですし、必要です。しかし、ほめるということ、甘やかすということの線引きは必要です。

甘やかすとは、親の価値判断にもよりますが、よくない状態だとわかっていながらも、それでよいと伝えてしまうことです。これでは、子どものためになりません。そして、よくないと思っているにもかかわらず、よいと伝えるわけですから、親は自分の気持ちに逆らっています。ストレスも溜まりますし、気分もよくないものです。学年にもよりますが、甘えられる家庭があることは必要です。「甘える」とこと「甘やかす」との区別も大切です。

ほめるとは、その子のよい部分をよいと伝えることです。認めることであり、評価することです。親が自分の気持ちをありのまま表現し、子どもも喜んでくれるので、お互いに気分がよくなります。人は認められると自信がつき、もっとかンばろうと思うものです。



哲学者であり、思想家、作家でもある、ジャン＝ジャック・ルソーの言葉です。

子どもを不幸にする一番確実な方法は、
いつでも、なんでも手に入れられるようにしてやることである。

心理学者が説いた次のコラムを見つけました。もしかすると当てはまるものがあるかもしれません…。

甘やかされて育った子どもの特徴 10

- ①注意されただけで泣く
- ②食べ物の好き嫌が多く、食事のマナーが悪い
- ③責任をもつことを嫌がる
- ④つらいこと、嫌なことから逃げる
- ⑤自分の要求が通らないとすねる、ふてくされる
- ⑥人のことは悪く言うくせに、自分が言われると傷つく
- ⑦自信がないのに、プライドが高い
- ⑧ほめて伸びるタイプというのに、ほめても伸びない
- ⑨神経質なのに、ミスが多い
- ⑩ミスをすると落ち込むのに、同じミスを繰り返す

